

パネリスト プロフィール



広島大学 情報メディア教育研究センター 情報基盤研究部門 准教授

近堂 徹

2006年広島大学大学院工学研究科博士課程後期終了。博士(工学)。現在、広島大学情報メディア教育研究センター准教授。2018年より同大学情報科学部を兼任。キャンパスネットワーク・教育研究用計算機システムの設計・導入や管理運用に携わるほか、リアルタイムマルチメディア通信、仮想化技術、クラウドコンピューティングに関する研究などに従事。



東北大学 サイバーサイエンスセンター スーパーコンピューティング研究部 教授

滝沢 寛之

1999年東北大学大学院情報科学研究科情報基礎科学専攻博士課程後期3年の課程修了。博士(情報科学)。同年新潟大学総合情報処理センター助手、2003年東北大学情報シナジーセンター助手、2004年東北大学大学院情報科学研究科講師、2009年同准教授、2017年東北大学サイバーサイエンスセンター教授。現在に至る、広く高性能計算に関連する技術に興味を持ち、特に高性能計算のためのプログラミングや実行時環境の高度化に取り組んでいる。情報処理学会、電子情報通信学会、IEEE、ACM会員。



東京大学 情報基盤センター スーパーコンピューティング研究部門 准教授

塙 敏博

1998年慶應義塾大学大学院理工学研究科計算機科学専攻博士課程修了。博士(工学)。同年東京工科大学工学部情報工学科講師、コンピュータサイエンス学部講師。2007年筑波大学計算科学研究センター研究員、2008年筑波大学大学院システム情報工学研究科准教授を経て、2013年東京大学情報基盤センター特任准教授、2015年より東京大学情報基盤センター准教授。計算機アーキテクチャ、高性能相互結合網、GPUコンピューティング等に関する研究、最先端共同HPC基盤施設(JCAHPC)におけるOakforest-PACSシステムなどの運用に従事。



NECソリューションイノベータ株式会社 営業統括本部 /
エンタープライズ営業部 上級プロフェショナル

松井 周一

1989年関西日本電気(現ルネサス)入社。電子部品の研究開発部に所属し有限要素法(強度解析、熱解析など)を適用したものづくりに約10年携わる。2000年NECソリューションイノベータに転籍。CAEとHPCのコンサルティング業務に従事。2001年米国スタンフォード大学客員研究員。2009年HPCクラウドサービス新規事業を立上げ、コンピュータシミュレーションによる顧客の課題解決に貢献してきた経験を活かして、現在は数値解析コンサルティング業務に従事している。技術士(情報工学部門)。



日本オラクル株式会社 公共営業統括 第四営業部 HPC Cloud担当

松山 慎

1991年湘南工科大学情報工学科卒業、1991年日本デジタルイクイップメント株式会社入社、2006年株式会社ベストシステムズ入社、2013年日本オラクル株式会社入社。公共営業統括にて2015年以降パブリッククラウドサービスであるOracle Cloud Infrastructureの公共/学術のHPC分野向け提案および販売活動に従事する。情報処理学会 HPC研究会 準登録個人。



Rescale Japan株式会社 シニアアカウントエグゼクティブ

吉田 圭二

1991年株式会社理経入社。アカデミック分野へのDEC製品の販売を担当。当時最新の64ビットマシンであるDec Alpha製品を日本で最初に大学に納入したなど、数多くの実績を持つ。その後日本SGI株式会社(現HP)、日本マイクロソフト株式会社、エヌビディア ジャパンなどを歴任し、2017年から現職。一貫してアカデミック分野におけるHPC製品の販売に従事し、現在はRescale Japanにおいて、パブリッククラウドとスーパーコンピュータシステムのハイブリッド環境の構築を推進している。



CYBER HPC SYMPOSIUM

CYBERMEDIA CENTER OSAKA UNIVERSITY

大阪大学 サイバーメディアセンター
サイバーHPCシンポジウム

日時 2019年3月8日(金)

会場 大阪大学 サイバーメディアセンター本館
(吹田キャンパス) サイバーメディアコモンズ

本年度のシンポジウムでは、高性能計算、クラウドに携わる産学の専門家をお迎えし、
本センターの大規模計算機システムの利活用事例、および最新の研究開発動向を踏まえつつ、
高性能計算の今後の課題と将来を考えていきます。

9:30-9:40	挨拶 大阪大学 サイバーメディアセンター 副センター長・特任教授 森原 一郎
9:40-10:30	基調講演 「北海道大学ハイパフォーマンスインタークラウドの概要～ハードウェア調達から継続的なソフト力の強化へ～」 北海道大学 情報基盤センター システムデザイン研究部門 准教授 杉木 章義
10:30-10:50	休憩
10:50-11:30	理学研究とクラウド利用のニーズ：理論宇宙物理学の例 大阪大学 大学院理学研究科 宇宙地球科学専攻 教授 長峯 健太郎
11:30-12:00	サイバーメディアセンターの大規模計算機システムの現状と課題 大阪大学 サイバーメディアセンター 応用情報システム研究部門 准教授 伊達 進
12:00-13:30	昼食
13:30-14:10	招待講演 「Microsoft Azureによる、クラウド時代のハイパフォーマンスコンピューティング」 日本マイクロソフト株式会社 デジタルトランスフォーメーション事業本部 エンタープライズクラウドアーキテクト技術本部 クラウドソリューション アーキテクト 五十木 秀一
14:10-14:50	大規模計算機を利用した内湾・湖沼の流動水質シミュレーション 大阪大学 大学院工学研究科 地球総合工学専攻 助教 中谷 祐介
14:50-15:30	リアルスケール社会シミュレーションの実現に向けて 関西大学 総合情報学部 総合情報学科 教授 村田 忠彦
15:30-16:15	休憩
16:15-17:45	パネルディスカッション 「大学の計算機センターはクラウドとどのように向き合うべきか？～共栄と廃業の狭間で～」 《座長》 大阪大学 サイバーメディアセンター 先進高性能計算機システムアーキテクチャ 共同研究部門 特任講師 渡場 康弘 《パネリスト》 広島大学 情報メディア教育研究センター 情報基盤研究部門 准教授 近堂 徹 東北大学 サイバーサイエンスセンター スーパーコンピューティング研究部 教授 滝沢 寛之 東京大学 情報基盤センター スーパーコンピューティング研究部門 准教授 堀 敏博 NECソリューションイノベータ株式会社 営業統括本部/エンタープライズ営業部 上級プロフェッショナル 松井 周一 日本オラクル株式会社 公共営業統括 第四営業部 HPC Cloud担当 松山 慎 Rescale Japan株式会社 シニアアカウントエグゼクティブ 吉田 圭二
18:00-	レセプション 場所：銀杏クラブ（銀杏会館内） 会費：2500円

講演者 プロフィール



北海道大学 情報基盤センター システムデザイン研究部門 准教授

杉木 章義

2007年電気通信大学電気通信学研究科博士後期課程修了。博士(工学)。2007年科学技術振興機構CREST研究員、2009年筑波大学学術情報メディアセンター助教、2015年北海道大学情報基盤センター准教授、現在に至る。クラウドコンピューティング、並列分散、OS・システムソフトウェアに関する研究に従事。情報処理学会会員。



大阪大学 大学院理学研究科 宇宙地球科学専攻 教授

長峯 健太郎

2001年プリンストン大学大学院修了。博士(理学)。ハーバード大学、カリフォルニア大学、ネバダ大学などを経て2013年より現職。専門は宇宙物理学。ダークマターとダークエネルギーに支配されたビッグバン膨張宇宙において、構造形成や天体形成(巨大ブラックホールと銀河の共進化など)について、スパコン上で宇宙流体シミュレーションを実行し研究している。日本天文学会、日本物理学会、理論天文学宇宙物理学懇談会、国際天文学連合会員。



日本マイクロソフト株式会社 デジタルトランスフォーメーション事業本部
エンタープライズクラウドアーキテクト技術本部
クラウドソリューション アーキテクト

五十木 秀一

2002年3月東京理科大学理工学研究科物理学専攻博士後期課程修了。博士(理学)。2002年4月日本SGI株式会社に入社。大学、研究機関、および企業で利用されるアプリケーション等のプログラム最適化・並列化、ベンチマークなどを行い、スーパーコンピュータやGPU等の営業支援および運用支援等に従事、2017年1月日本マイクロソフト株式会社に入社。現職では、ハイパフォーマンスコンピューティング分野におけるクラウドの利用推進するため、技術面で営業および運用支援に従事している。



大阪大学 大学院工学研究科 地球総合工学専攻 助教

中谷 祐介

2012年大阪大学大学院工学研究科地球総合工学専攻博士後期課程修了。博士(工学)。2012年東京大学大学院新領域創成科学研究科環境システム学専攻助教を経て、2013年より大阪大学大学院工学研究科地球総合工学専攻助教。2016年土木学会海岸工学論文賞受賞。湖沼、河川、流域、海域の環境水理に関する研究に従事。



関西大学 総合情報学部 総合情報学科 教授

村田 忠彦

1997年大阪府立大学大学院工学研究科修了。博士(工学)。現在、関西大学総合情報学部教授。関西大学政策グリッドコンピューティング実験センター長、シカゴ大学計算研究所客員研究員、IEEE System, Man, and Cybernetics Society(SMCs)日本支部長を歴任し、現進化計算学会副会長、IEEE SMCS Awareness Computing技術委員長、IEEE SMCS理事。システム制御情報学会奨励賞、計測自動制御学会社会システム部会最優秀論文賞、日本知能情報ファジィ学会貢献賞、IEEE SMCS最優秀技術委員会賞受賞。現在、大規模リアルスケール社会シミュレーションの研究に従事。